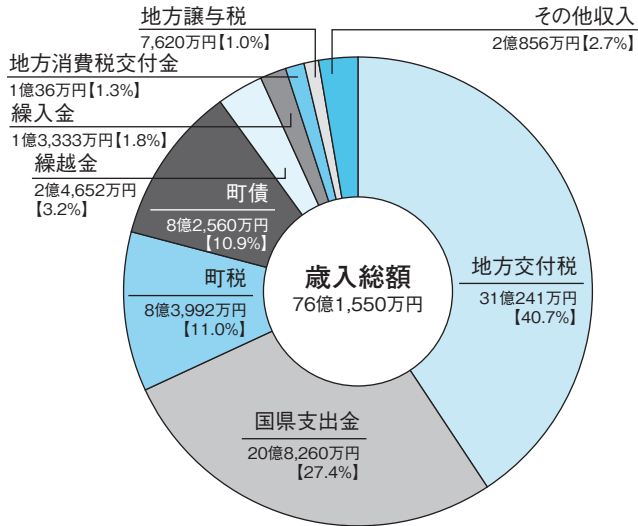


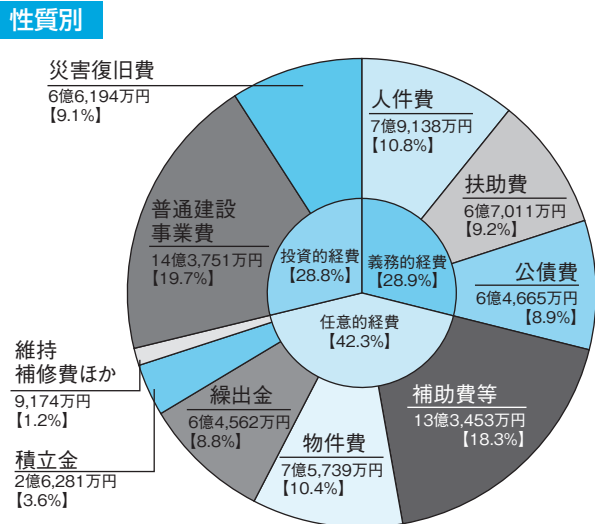
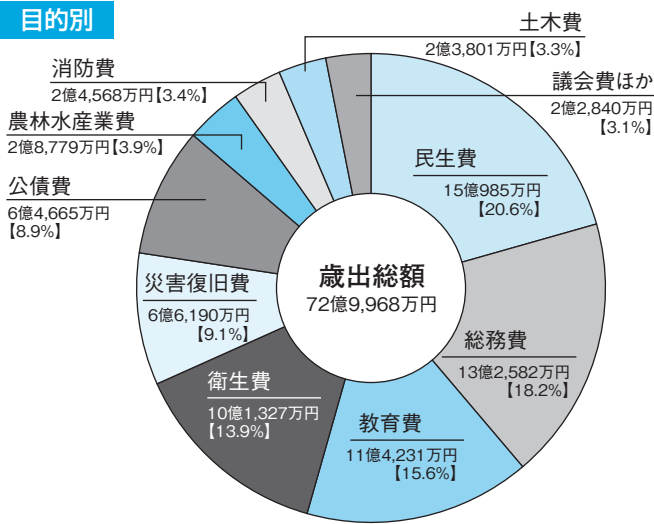
一般会計

町会計の中心である一般会計は、歳入が76億1,550万円、歳出が72億9,968万円で、差引3億1,582万円の黒字決算となりました。前年度と比較すると、普通建設事業費や災害復旧事業費の増加などにより、歳入は11億6,409万円、歳出は12億2,379万円増加しました。

歳入 76億1,550万円 (対前年度比18.0%増)



歳出 72億9,968万円 (対前年度比20.1%増)



平成25年度 決算の概要

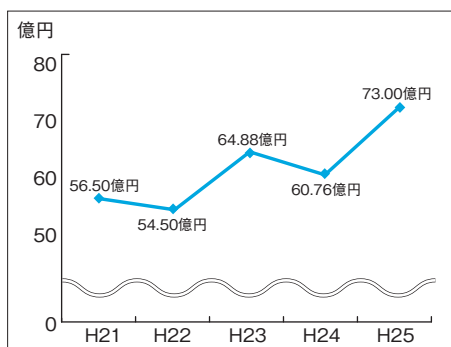
平成25年度における三戸町の一般会計と7つの特別会計の決算（平成25年4月1日から平成26年3月31日までの1年間の収入と支出の実績）が、町議会9月定例会において認定されました。町民の皆さんや事業所などから

納めていただいた税金や、国、県からの交付金などを元に、昨年度はどのような事業を実施したのか、その概要についてお知らせします。

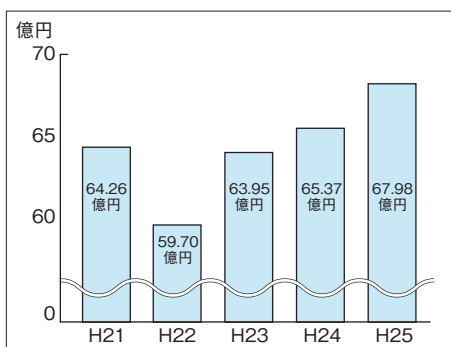
また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）に基づき算定した、平成25年度決算に基づく健全化判断比率、資金不足比率を公表します。

災害復旧、光ファイバー網整備に係る事業費により平成25年度の一般会計歳出決算額は直近5年間の中で最大の規模となりました。一般会計町債残高は、小中一貫校の建設が本格的に始まった平成23年度から増加し、平成25年度末残高は67.98億円となりました。

一般会計歳出決算額



一般会計町債残高



おもな取り組み

○快適で住みよい明るいまちづくり

災害復旧事業【災害復旧費】 6億6,190万円

平成24年3月に発生した凍上災害の復旧のため、道路20路線32箇所の復旧工事を実施しました。また、平成25年9月発生の台風18号により被災した、農地47箇所、農業用施設14箇所、道路12箇所、河川1箇所の測量設計を実施しました。

光ファイバー網整備事業【総務費】 4億9,579万円

斗内及び猿辺地区の高速ブロードバンド環境整備と地上デジタル放送難視地区への対策施設の整備を実施しました。

消防ポンプ整備事業【消防費】 4,350万円

三戸町消防団第7(泉山)及び第13分団(斗内)に消防ポンプ自動車、第1(同心町)、第18(貝守)及び第19分団(杉沢)に小型動力ポンプを導入しました。

コミュニティバス運行事業【総務費】 5,771万円

平成25年10月1日から三戸町コミュニティバスの運行を開始し、患者輸送バス、町内路線バス及びスクールバスを一元化しました。

橋梁長寿命化計画策定事業【土木費】 2,027万円

町道に架かる36橋梁を対象に点検を実施し、長寿命化に向けた修繕等の計画を策定しました。

○仕事でにぎわう楽しいまちづくり

緊急雇用創出事業【労働費】 7,190万円

雇用機会の創出を目的とした、まちの楽校運営事業、観光活性化・推進体制強化事業、ユーザーサポート人材育成事業を実施しました。

青年就農給付金事業【農林水産業費】 1,582万円

町の農業を担う意欲ある若手農業者を支援するため、就農直後で経営が不安定な新規就農者10人と1夫婦を対象に支援金を給付しました。

プレミアム付き商品券発行事業【商工費】 334万円

消費者の購買意欲喚起と町の経済活動の活性化を目的としたプレミアム付き商品券発行事業に対し、補助金を交付しました。

11ぴきのねこによるまちづくり事業【総務費・民生費】 739万円

11ぴきのねこの石像の設置や11ぴきのねこ仮装大会への補助を実施しました。

○笑顔で、健康で元気に暮らせるまちづくり

乳幼児医療費助成事業【民生費】 828万円

子育て世代の医療費負担を軽減し、安心して医療を受けられる体制を整備するため、就学前までの乳幼児の医療費を無料化しました。

保育料軽減事業【歳入】 保護者負担金△2,020万円

子どもを産み育てる環境を整備するため、保育料を軽減し、保護者の経済的負担を軽減しました。

○生きる力にあふれた学びのまちづくり

小中一貫教育推進事業【教育費】 1,168万円

勉強の仕方、学習計画の立て方を学ぶ学習コーチ事業や中1ギャップ解消のための進級前ガイダンス等を実施しました。

小中一貫校建設事業【教育費】 6億1,752万円

体育館と武道場の建設工事が完了し、屋外運動場の造成工事に着手しました。



患者輸送バス、路線バス、スクールバスを一元化したコミュニティバス



昨年設立された株式会社ユーザーサポートセンター三戸



保育料を軽減し、保護者の経済的負担を軽減



完成した小中一貫三戸学園の体育館

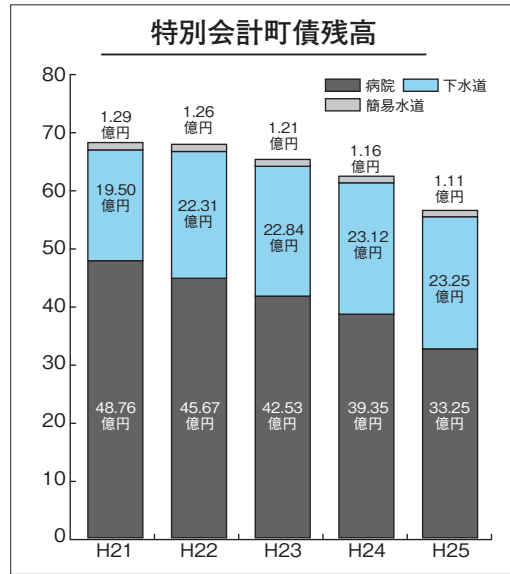
特別会計

三戸中央病院の収益的収支は、一般会計からの繰入金を増額などにより、収入が17億8,443万円、支出が16億6,880万円で、差引1億1,563万円の当期純利益となりました。

介護保険特別会計は、歳入が18億5,203万円、歳出が18億651万円で、歳入・歳出ともに前年度から約1億円増加しました。

特別会計の町債については、下水道事業の残高は増加しているものの、病院会計と簡易水道会計においては新規発行町債がなかったため、残高は減少しています。

会計名		収入額	支出額	差引
病 院	収益	17億8,443万円	16億6,880万円	1億1,563万円
	資本	1億2,312万円	3億3,361万円	△2億1,049万円
介 護 保 険		18億5,203万円	18億651万円	4,552万円
国民健康保険		16億9,290万円	16億2,958万円	6,332万円
下 水 道		1億7,677万円	1億5,995万円	1,682万円
後期高齢者医療		1億1,672万円	1億1,523万円	149万円
簡 易 水 道		4,587万円	4,013万円	574万円
学 校 給 食		4,035万円	4,018万円	17万円



財政健全化比率

財政健全化法は、「早期健全化基準」と「財政再生基準」という2段階の判断基準を定めるとともに、公営企業については「経営健全化基準」を設け、財政状況をチェックして地方公共団体の財政破綻を未然に防ごうとするものです。

平成25年度決算に基づき健全化判断比率を算定したところ、いずれの比率についても基準を下回る結果となりました。また公営企業会計における資金不足比率についても、全会計において資金不足額はありませんでした。

健全化判断比率

	平成25年度 決 算	平成24年度 決 算	平成23年度 決 算	早期健全化基準
				財政再生基準
実 質 赤字比率	-	-	-	15.00 % 20.00 %
連結実質 赤字比率	-	-	-	20.00 % 30.00 %
実 質 公債費比率	15.3 %	16.8 %	18.5 %	25.0 % 35.0 %
将来負担 比 率	116.6 %	123.2 %	130.8 %	350.0 %

資金不足比率

	平成25年度 決 算	平成24年度 決 算	平成23年度 決 算	経営健全化 基 準
病院会計	-	-	-	20.0 %
簡 易 水道会計	-	-	-	
下水道会計	-	-	-	

*「-」は、実質赤字額・資金不足額がないことを表しています。

財政健全化比率について

実質赤字比率

福祉、教育、町づくりなど、どの団体でも普遍的に行う事業をまとめた「一般会計」の赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示すものです。

連結実質赤字比率

全ての会計の赤字や黒字を合算(連結)し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化して、地方公共団体全体の財政運営の深刻度を示すものです。

実質公債費比率

借入金の返済額及びこれに準ずる額の大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示すものです。

将来負担比率

一般会計の借入金や将来支払う可能性のある負担などの程度を指標化して、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

資金不足比率

公営企業の資金不足を、事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。